

たかおか

市民と市政

9

No.191
2021年9月号



祝

4大会連続21度目の夏の甲子園出場！

第103回全国高等学校野球選手権富山大会

優勝報告会（高岡商業高等学校）



無料アプリ・カタログポケットで、
「優勝報告会」の写真を閲覧できます。
※アプリのインストールは、裏表紙下部を
ご参照ください。

広報紙への
ご意見・ご感想を
お待ちしております！

投稿フォーム



9月23日(木・祝)～26日(日)

開催場所:高岡中心市街地一帯 他

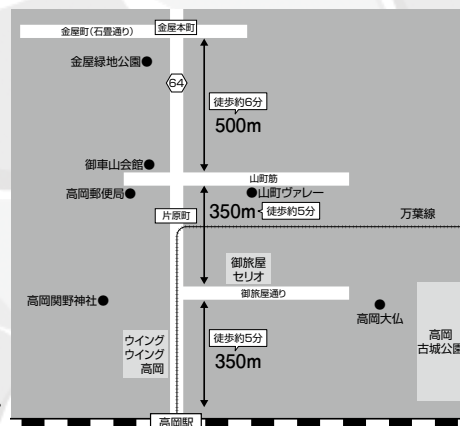
TAKAOKA

工芸都市 高岡の秋。2021



秋のクラフトイベントが
2年ぶりに復活！
現地での開催だけでなく、
自宅からも楽しめるよう、
動画配信やオンラインの
ワークショップを用意しました。

▶高岡市街マップ



クラフトや高岡の魅力を発信

高岡クラフト市場街

ところ 山町筋、御旅屋通り、金屋町などの中心市街地一帯ほか

※9月18日(土)よりオンライン配信開始

問合せ 高岡クラフト市場街実行委員会 (E) ichibamachi@gmail.com
文化創造課 ☎ 20-1255

高岡のものづくりを支える職人や工房が主役となり、クラフトや高岡のまちの魅力を発信します。10周年の今年は、高岡の伝統産業の魅力を伝えるトークショーや記念番組などをYouTubeでオンライン配信します。

また、中心市街地など市内各所にて、ワークショップや工場・工房見学、クラフトの販売、職人やクリエイターによる作品の展示、音楽ライブなどを開催します。詳細は「高岡クラフト市場街」ホームページをご確認ください。



最新のイベントスケジュールはこちら

記念番組などオンライン配信はこちら



市場街H.P



市場街TV
チャンネル



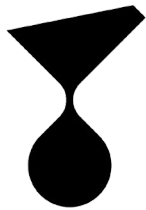
伝統産業の職人技が、現地だけでなくオンラインでも間近に見られます。



音楽ライブで、会場でも画面の向こう側でも盛り上がりそう！



クラフトコンペ入選作家や、地元作家の作品を展示・販売します。



全国の作家の技の粋が集結

工芸都市高岡2021クラフト展

ところ 御旅屋セリオ2階 正面エレベータ前スペース

問合先 産業企画課 ☎ 20-1395

今年で34回目を迎える「工芸都市高岡クラフトコンペティション」の入賞作品などを展示します。今年は「手間」をテーマとした作品が会場に集い、気に入った作品は購入予約もできます。

入賞・入選作品は、会場での展示のほか、「工芸都市高岡クラフトコンペ」ホームページでもご覧いただけます。



クラフトコンペ
HP

■2019年の展示の様子



全国の優れた作り手の作品をぜひご覧下さい。

■2019年入賞作品（一部）



- ① グランブリ/sou(西ノ内紙のジュエリー)/野本美咲
② 準グランブリ/竹小篭(竹の小物入れ)/竹中直哉
③ 奨励賞/夜盗(青銅の容器)/尾崎 迅

高岡クラフトコンペ2021テーマ 「手間」

当たり前が当たり前じゃなくなったとき、気にならなかったことが気になり始めました。そして、便利でいいと思ってたことを時間をかけてじっくりできることが、何と心地良いのかと気づけました。

手の間と書いて手間（てま）。その「間」に含まれるプロセスや時間こそが豊かさの源泉なのではないかと思いました。手間はかかるが日常にある豊かさを実感できるもの。もしくは手間がかかりすぎて現代では敬遠されているものを、もう一度楽しめるような手間に落とし込んだもの。今まで気にならなかった間の抜けた場所に飾りたくなるもの。しかし、ただ手間をかけて作ったもの・使うものが良いというわけではありません。

手間を感じる、その方が良かったんだと気付けるような作品に出会いたいです。



工芸都市高岡クラフトコンペ審査員長
大治 将典

素のもののワークショップ

※9月25日(土)のみ開催

高岡にゆかりのある工芸作家や職人が講師となり、素材の魅力に触れるものづくり体験教室を開催します。全国どこからでもご参加いただける、Zoomを利用したオンライン開催も用意しています。

※詳細および注意事項などは、デザイン・工芸センターホームページにてご確認ください。



デザイン・工芸
センターHP

①銅のフライパン、浅鍋

平らな一枚の銅板を叩いて、フライパンか浅鍋のどちらかを選んで作ります。

講師 池田晴美（金工作家）

ところ デザイン・工芸センター工房
(オンライン開催なし)

料金 9,500円

定員 全2回開催、各回4人（申し込み順）

②漆喰のコースター

左官で用いる漆喰を使って、天然素材のコースターを作ります。

講師 寺西一貴（左官）

ところ デザイン・工芸センター工房または
オンライン参加（Zoom）

料金 2枚製作で1,000円(1枚500円で追加可)

※オンライン参加の場合、別途送料

定員 全7回開催、各回6人（申し込み順）

とき ①②ともに9月25日(土)
※開催時間は体験内容によって異なります。

申込期間 9月17日(金)まで

申込方法 直接か電話またはEメールで、住所・氏名・電話番号をデザイン・工芸センター（☎62-0520、✉tdcc@suncenter.co.jp）へ。

問合先 デザイン・工芸センター ☎62-0520



食卓などで使用できる、身近で本格的な作品を作ってみませんか。



※オンライン参加の人には、体験に必要な道具や材料をご自宅へお届けします。

令和3年度国立美術館巡回展

国立西洋美術館コレクションによる

高岡で考える西洋美術 —〈ここ〉と〈遠く〉が触れるとき

9月10日(金)～10月24日(日) 美術館

国立西洋美術館が所蔵する、中世末期から20世紀初頭までのコレクション約110点と、高岡市美術館のコレクション約20点を展示し、近代以降の日本に流入した西洋美術の源流を探ります。ヴェロネーゼ、デューラーやドラクロワ、クールベ、ロダン、モリゾ、モネ、ルノワールなどの作品を、この機会にぜひご覧ください。

時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜休館（月曜が祝日の場合は翌平日）

料金 一般1,200円、65歳以上900円、高校・大学生600円、
小・中学生300円、親子券1,400円（大人1人、小・中学生2人まで）

前売券 生涯学習センター、アーツナビなどで一般のみ900円で販売

問合先 美術館 ☎ 20-1177 FAX 20-1178



ベルト・モリゾ
《黒いドレスの女性（観劇の前）》
1875年、油彩/カンヴァス、
林忠正の旧蔵歴あり、国立西洋美術館

関連行事

①国立西洋美術館研究員によるスライドトーク②当館学芸員による展示作品紹介
高岡を舞台にした展覧会だからこそ新たに见えてくる、国立西洋美術館のコレクションの魅力を紹介します。

とき ①9月25日(土)午後2時～午後3時30分②10月9日(土)午後2時～午後3時

ところ 美術館地階ビトークホール

講師 ①新藤淳（本展企画者・国立西洋美術館主任研究員）②当館学芸員

定員 各30人（申し込み順・参加無料）

申込 ①②とも9月1日(木)から、直接または電話で住所・氏名・電話番号を、美術館 ☎ 20-1177 へ。（定員に達した時点で締切。受付時間：午前9時30分～午後5時）



パオロ・ヴェロネーゼ（本名パオロ・カリアーリ）《聖カタリナの神秘の結婚》1547年頃、油彩/カンヴァス、
国立西洋美術館



オーギュスト・ロダン《青銅時代》1877年（原型）、ブロンズ、松方コレクション、国立西洋美術館 撮影：©上野則宏



Pick UP

日本で西洋美術の本格的な流入が始まった明治時代、高岡には2人の先駆者がいました。仏師の家系に生まれ、万国博覧会の時代に郷土の期待を受けながらニューヨーク、パリへ留学し、彫刻家・ロダンにめぐりあった本保義太郎（1875－1907）と、彼に先立ってパリに滞在し、西洋と日本の文化の架け橋となった美術商・林忠正（1853－1906）です。

本展覧会では、国立西洋美術館のコレクションの展示にとどまらず、高岡ゆかりの作品や資料をあわせて展示することで、高岡生まれの芸術家やこの地に特有の記憶に触れつつ、〈ここ〉でしかみられない、〈ここ〉だからこそみえてくる「西洋美術」について考えます。